

第 52 期
事業報告書

自 平成17年4月1日
至 平成18年3月31日



株式会社フレンドリー

株主の皆様へ



株主の皆様には、いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび当社第52期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の決算を行いましたので、営業の概況、貸借対照表、損益計算書および利益処分等を次のとおりご報告申し上げます。

株主の皆様には、このうえとも一層のご理解、ご鞭撻を賜りますようひとえにお願い申し上げます。

平成18年6月

代表取締役社長 重 里 育 孝

営業の概況

当期におけるわが国経済は、企業収益の改善と輸出・設備投資の増加を背景に、緩やかな回復を続けてきました。一方、個人消費は一部に明るさが見られるものの、税金の負担増や年金問題等、先行きに対する不安感から脱しきれず、回復は限定的なものでありました。

外食業界におきましても、市場規模の縮小傾向に加え、店舗過剰による同業他社との競争・競合の激化で、経営環境は極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、①既存事業の再構築、②新業態の開発・展開、③接客レベルと商品開発力の強化、に全力を挙げて取り組んでまいりました。

商品政策につきましては、“健康・安全・おいしさ”の見地から食材を厳選し、お値打ち感のある商品の提供に努めました。

店舗増減につきましては、期中に新業態を16店舗（内業態転換8店舗）出店、既存業態を15店舗（同8店舗）閉店いたしました。この結果、当期末の総店舗数は前期末比1店舗増加し、138店舗となりました。

食の安全・衛生管理におきましては、「フレンドリー購買基準」の構築と衛生管理・検査体制を確立し、ISO9001とともに厳格に運用しております。

損益面につきましては、事業構造改革の柱として、①計画外で4店舗の閉店と7店舗の業態転換を前倒しで実施したこと。②新業態の開発費と開店（転換）経費、業態転換に伴う休業経費、広告宣伝費、高速出店（転換）要員確保のための採用費等、戦略的な先行投資とコストが大幅に増加したこと。また、③新店の出店が計画比4店舗未達となったこと。④同業他社との競合激化で既存店が予想以上に苦戦したこと。等を要因として減収減益となりました。

また、事業構造の改革と減損会計の厳格な適用による財務内容の健全化を推進した結果、減損損失を843百万円、閉店・業態転換等による固定資産除却損等111百万円に加えて、来期に閉店予定の店舗閉鎖損失引当金62百万円を前倒しし、合計1,017百万円（期初計画230百万円）を特別損失に計上しております。

なお、低採算店の閉鎖につきましては、その立地条件や契約条件等を総合的に勘案して、業態転換または他社へ転貸するなど賃借契約解約損の抑制に努めております。

以上の結果、当期における売上高は16,291百万円（前期比△208百万円・1.3%減）、営業利益は△112百万円（同△503百万円・一）、経常利益は△119百万円（同△520百万円・一）、当期純利益は△785百万円（同△845百万円・一）となりました。

部門別の概況は次のとおりであります。

「ファミリーレストラン フレンドリー」におきましては、「おいしい・たのしい・ここちいい」をコンセプトとして、オーソドックスなファミリーレストランを堅持し、フレンドリーなお店作り邁進してまいりました。ハンバーグの美味しさを追求し、“ふっくらハンバーグ”としてブラッシュアップいたしました。昨年8月から始めた“ステーキフェア”は好評で“オージービーフェア”として継続しております。当部門の店舗数は、前期末比4店舗減少（内、業態転換1店舗）し、59店舗となりました。この結果、部門売上高は7,188百万円（前期比△838百万円・10.4%減）となりました。

「団欒れすとらん ボンズ」におきましては、“四季折々の旬のメニューと彩り”にこだわり、お友達やご家族の方々に和気藹々と“団欒（だんらん）のひととき”を楽しんでいただきました。宴会メニューを充実させ、予約活動の強化にも努めました。当部門の店舗数は、前期末比9店舗減少（内、業態転換7店舗）し、58店舗となりました。この結果、部門売上高は7,098百万円（前期比△993百万円・12.3%減）となりました。

「和み料理と味わいの酒 土筆んぼう」は、9店舗を出店し、10店舗となりました。日本の原風景“里山”をテーマにし、こだわりのメニューとノスタルジックな雰囲気がお客様に支持されております。この結果、部門売上高は、1,023百万円（前期比1,009百万円・7,626.7%増）となりました。

「産直鮮魚と寿司・炉端 源ぺい」は5店舗を出店いたしました。旬の魚と寿司、炉端を前面に押し出した店内は活気に満ち、大変手ごたえを感じております。部門売上高は、439百万円となりました。

「イタリアンレストラン イルパローネ」は、「安心・安価・美味」のイタリア料理をお手軽な価格で味わっていただいております。当部門の店舗数は前期末比1店舗減少し、4店舗となりました。部門売上高は332百万円（前期比△27百万円・7.8%減）となりました。

昨年7月から本格的な和食の店として「せいろ御飯・手作り豆腐 竹〇屋」を検証しております。部門売上高は、114百万円となりました。

本年3月下旬に健康応援をテーマに「ダイニング・ビュッフェい〜とみ〜と」の実験を開始いたしました。部門売上高は4百万円となりました。

「ベーカリーレストラン ココット」は、事業から撤退いたしました。部門売上高は90百万円でありました。

当期は事業構造の改革と減損会計の厳格な適用による財務内容の健全化を推進した結果、大幅な赤字を計上いたしました。が、来期以降の業績見通しと安定配当の方針・今後の事業展開に必要な内部留保等を総合的に勘案して、利益配当金は前期同様、1株当たり5円とさせていただきますので、宜しくお願ひ申し上げます。

今後につきましては、景気は緩やかな回復が見込まれておりますが、同業および中食業界を交えての競争・競合の激化は避けられず、経営環境は引続き厳しいものと予想しております。

このような状況のもと、当社といたしましては、喫緊の課題として、事業構造の改革に取り組み、業績の回復に努めてまいります。

具体的には以下の各課題に取り組んでまいります。

① 事業構造の改革

当期に引続き、不採算店ならびに一定以上の業績の確保が難しいと見込まれる業態・店舗からの撤退を断行し、経営資源を好調な新業態に集中配分することにより事業構造を改革し、もって収益力の回復を図ります。

具体的には、次期はココット事業に次いで、イルパローネ事業から撤退すると共に、不採算店・低採算店を12～13店舗（前期は7店舗）閉店いたします。また、「ファミリーレストラン フレンドリー」と「団欒れすとらん ボンズ」の中下位店を新業態の「産直鮮魚と寿司・炉端 源ぺい」

い」に7～8店舗、健康応援「ダイニング・ビュッフェい～とみ～と」、「和み料理と味わいの酒 土筆んぼう」に各1店舗、合計9～10店舗（前期は8店舗）転換いたします。

なお、次期には、事業構造改革の方向性と業績回復軌道に目途をつけ、再来期以降3ヵ年で、新業態の新規出店の強化と既存業態の店舗を順次新業態へ転換することにより、事業構造改革を仕上げてまいります。

② 新業態の開発

常に時代にマッチした業態の開発に取り組んでまいります。昨今、お客様の消費・購買においては、価格の安さだけが基準ではなく、従来にない新しさ・安全性・健康・おいしさ・雰囲気などの商品価値と満足感が重視されつつあります。里山をテーマとした都市型居酒屋「和み料理と味わいの酒 土筆んぼう」と「産直鮮魚と寿司・炉端 源пей」は既に多店舗展開を開始しておりますが、今後一層、拍車をかけてまいります。

また、本格的な和食の「せいろ御飯・手作り豆富 竹〇屋」と、健康応援「ダイニング・ビュッフェい～とみ～と」を実験中であります。

③ 新規出店の強化

厳選された好立地に積極的に出店し、営業基盤を拡大することを基本戦略として引続き取り組んでまいります。

次期は、「土筆んぼう」11店舗、「源пей」8～9店舗、「竹〇屋」・「い～とみ～と」を各1店舗の合計21～22店舗（内業態転換9～10店舗）を予定しております。

なお、再来期以降はこれら新業態の出店ペースを倍加させる計画であります。

④ 商品開発力の強化

より一層の顧客満足を実現するため、新商品の開発や既存商品の見直しを積極的に行い、お値打ちで魅力ある商品の開発に取り組んでまいります。また新しい食材と原価の低減を求めて国内・国外を問わず、仕入・調達活動を一層強化推進してまいります。

⑤ 人材の育成

成果に重点を置いた人事評価制度と目標管理制度の定着を図ると同時に、計画的・組織的にスペシャリストの育成に取り組んでおります。

⑥ 品質管理・環境問題への対応

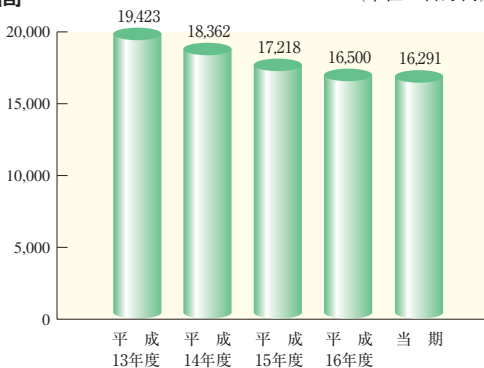
品質保証センターを設置し、産地から食卓までトータルに安全・衛生を厳しくチェックできる体制を品質保証システムとして構築しております。具体的には、食材の納入段階におけるトレーサビリティ・微生物学検査・残留農薬検査といった購買基準の構築、製造・物流段階におけるISO9001による品質保証体制、店舗段階における衛生管理・検査体制の確立と厳格な運用に取り組んでおります。また、食品廃棄物等の発生の抑制、減量、再生利用にも積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

業績の推移 (平成18年 3月31日現在)

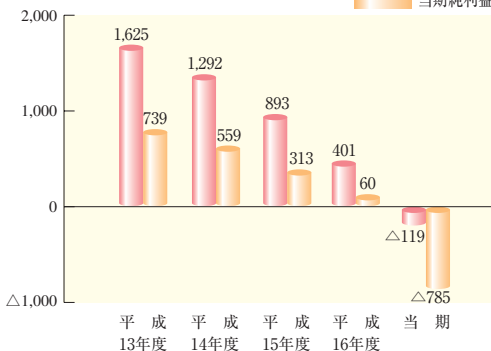
● 売上高

(単位：百万円)



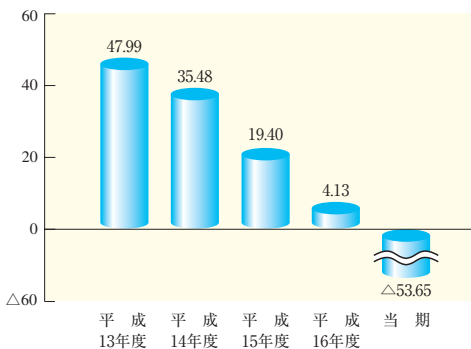
● 経常利益・当期純利益 (単位：百万円)

■ 経常利益
■ 当期純利益

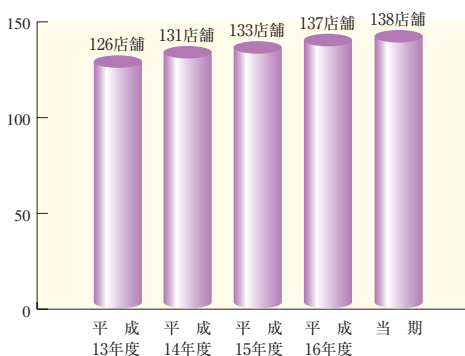


● 1株当たり当期純利益

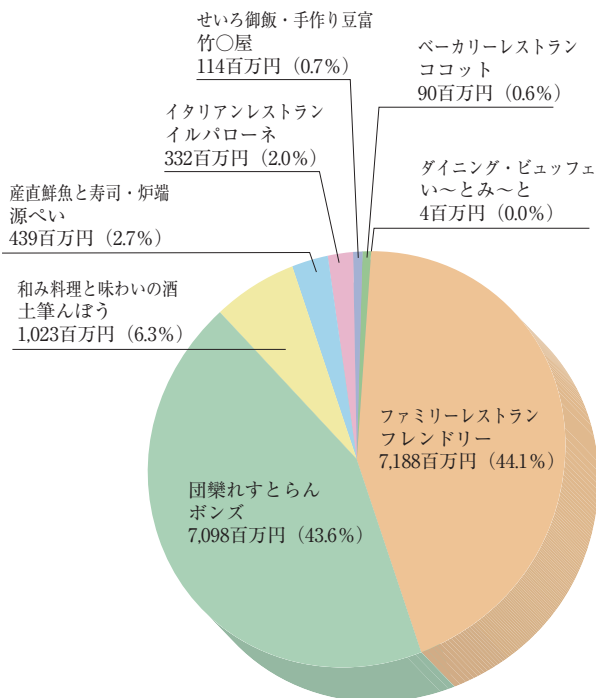
(単位：円)



● 店舗数



● 部門別売上高



貸借対照表 (平成18年3月31日現在)

(単位：千円、未満切捨て)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,231,590	流動負債	1,651,258
現金及び預金	2,862,239	買掛金	441,062
売掛金	43,163	1年以内返済の長期借入金	320,000
商品	13,472	未払金	747,299
製品	19,350	未払法人税等	42,262
原材料	125,188	未払消費税等	11,530
貯蔵品	1,756	預り金	22,170
前払費用	85,959	店舗閉鎖損失引当金	62,561
繰延税金資産	14,855	その他の流動負債	4,372
未収入金	65,542	固定負債	1,711,401
その他の流動資産	127	社債	600,000
貸倒引当金	△ 67	長期借入金	705,000
固定資産	9,531,018	長期未払金	6,830
有形固定資産	5,615,575	再評価に係る繰延税金負債	211,666
建物	2,425,365	長期預り金	29,000
構築物	170,102	役員退職慰労引当金	158,904
機械装置	64,430	負債合計	3,362,660
車両運搬具	381	(資本の部)	
器具備品	638,475	資本金	3,975,062
土地	2,316,820	資本剰余金	3,058,146
無形固定資産	102,391	資本準備金	3,058,146
借地権	78,943	利益剰余金	3,130,192
ソフトウェア	11,194	利益準備金	228,350
電話加入権	10,629	任意積立金	2,640,000
水道施設利用権	1,624	別途積立金	2,640,000
投資その他の資産	3,813,051	当期末処分利益	261,842
投資有価証券	361,818	土地再評価差額金	△ 929,887
関係会社株式	50,000	その他有価証券評価差額金	174,243
長期貸付金	18,156	自己株式	△ 7,808
長期前払費用	75,454	資本合計	9,399,949
繰延税金資産	310,411	負債・資本合計	12,762,609
差入保証金	2,839,946		
その他の投資	157,263		
資産合計	12,762,609		

損益計算書 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

(単位：千円、未満切捨て)

科 目		金	額	
経常損益の部	営業収益		16,291,876	
	売上高			
	営業費用			
	売上原価	5,075,976		
	販売費及び一般管理費	11,328,065	16,404,042	
	営業利益		△ 112,166	
	営業外損益の部	営業外収益		
		受取利息	9,284	
		受取配当金	2,576	
		その他	80,804	92,666
営業外費用				
支払利息		19,814		
その他	79,730	99,544		
経常利益		△ 119,044		
特別損益の部	特別利益			
	店舗立退補償金	91,310		
	貸倒引当金戻入益	7	91,317	
	特別損失			
	減損損失	843,823		
	固定資産除却損	108,400		
	店舗閉鎖損失引当金繰入額	62,561		
店舗等賃借契約解約損	2,919	1,017,705		
税引前当期純利益		△1,045,432		
法人税、住民税及び事業税		37,349		
法人税等調整額		△ 297,707		
当期純利益		△ 785,074		
前期繰越利益		1,119,219		
土地再評価差額金取崩額		△ 72,303		
当期未処分利益		261,842		

キャッシュ・フロー計算書(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)

(単位：千円、未満切捨て)

科 目	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純利益	△ 1,045,432
減価償却費	494,822
減損損失	843,823
店舗閉鎖損失引当金の増加額(△：減少額)	62,561
役員退職慰労引当金の増加額(△：減少額)	14,850
受取利息及び受取配当金	△ 11,861
その他営業外収入	△ 80,804
支払利息	19,814
その他営業外支出	79,730
貸倒引当金戻入益	△ 7
その他特別利益	△ 91,310
有形固定資産除却損	108,400
店舗等賃借契約解約損	2,912
売上債権の減少額(△：増加額)	6,051
たな卸資産の減少額(△：増加額)	△ 35,086
仕入債務の増加額(△：減少額)	32,772
未払消費税等の増加額(△：減少額)	△ 26,673
その他資産の減少額(△：増加額)	130,277
その他負債の増加額(△：減少額)	248,248
小 計	753,089
利息及び配当金の受取額	3,640
その他営業外収入	79,274
利息の支払額	△ 19,758
その他営業外支出	△ 69,663
その他特別利益	91,310
固定資産除却による支出	△ 31,960
店舗賃借契約解約による支出	△ 2,912
法人税等の支払額	△ 54,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	748,900
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△ 500,000
有形固定資産の取得による支出	△ 925,518
貸付金の回収による収入	1,426
差入保証金の差入による支出	△ 130,171
差入保証金の回収による収入	79,800
その他投資による支出	△ 9,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,483,804
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△ 5,500
長期借入れによる収入	400,000
長期借入金の返済による支出	△ 382,500
社債の発行による収入	600,000
社債の償還による支出	△ 700,000
自己株式の取得による支出	△ 1,598
配当金の支払額	△ 73,078
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 162,677
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V. 現金及び現金同等物の増加額又は減少額	△ 897,581
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	3,259,820
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	2,362,239

注記事項

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法
 - 子会社株式 移動平均法による原価法
 - 其他有価証券 時価のあるもの 決算末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）
 - 時価のないもの 移動平均法による原価法
2. たな卸資産の評価基準及び評価方法
 - 商品・製品・原材料 総平均法による原価法
 - 貯蔵品 最終仕入原価法
3. 固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産
 - 定率法によっております。
 - ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法によっております。
 - なお、取得価額が10万円以上20万円未満の資産については、3年間で均等償却しております。
 - 無形固定資産
 - 定額法によっております。ただしソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
 - 長期前払費用
 - 均等償却しております。
4. 引当金の計上基準
 - 貸倒引当金
 - 売掛金等債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について、貸倒実績率により回収不能見込額を計上しております。
 - なお、貸倒懸念債権等特定の債権はありません。
 - 店舗閉鎖損失引当金
 - 店舗の閉鎖に伴い発生する損失に備えるため、店舗閉鎖により合理的に見込まれる閉店関連損失額を計上しております。
 - なお、この引当金は商法施行規則第43条に規定する引当金であります。
 - 役員退職慰労引当金
 - 役員退職慰労金の支出に備えるため、会社内規に基づく当期末要支給額の100%を計上しております。
 - なお、この引当金は商法施行規則第43条に規定する引当金であります。
5. リース取引の会計処理方法
 - リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
6. その他の事項
 - 消費税等の会計処理方法
 - 消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用しております。

会計方針の変更

(固定資産の減損に係る会計基準)

当営業年度より、固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会平成14年8月9日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日）を適用しております。これにより税引前当期純利益は843,823千円減少しております。

なお、減損損失累計額については、各資産の金額から直接控除しております。

貸借対照表注記

1. 関係会社に対する短期金銭債権 558千円
2. 関係会社に対する短期金銭債務 74,054千円
3. 有形固定資産減価償却累計額 8,719,422千円
4. 担保に供している資産
店舗土地・建物 1,450,520千円
5. 貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している固定資産として電子計算機とその周辺機器、工場機械および店舗の調理器具があります。
6. 事業用土地の再評価
「土地の再評価に関する法律」（平成10年3月31日公布法律第34号）および「土地の再評価に関する法律の一部を改正する法律」（平成11年3月31日公布法律第24号）に基づき、事業用土地の再評価を行っております。
再評価の方法
土地の再評価に関する法律施行令（平成10年3月31日公布政令第119号）第2条第4号に定める路線価に合理的な調整を行って算出しております。
再評価を行った年月日 平成14年3月31日
再評価を行った土地の期末における時価と再評価後の帳簿価額との差額 △691,743千円
土地再評価差額金
減損後の再評価差額718,220千円について、929,887千円を土地再評価差額金として資本の部（マイナス表示）に計上し、再評価に係る繰延税金負債211,666千円を負債の部に計上しております。
7. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額は174,243千円であります。

損益計算書注記

1. 関係会社との営業取引高 760,530千円
2. 関係会社との営業取引以外の取引高 1,680千円
3. 1株当たり当期純利益 △53円65銭
1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎
当期
当期純利益 △785,074千円
普通株式に係る当期純利益 △785,074千円
期中平均株式数 14,632,153株

利益処分

項 目	金 額
当 期 未 処 分 利 益	261,842,253 円
別 途 積 立 金 取 崩 額	500,000,000
計	761,842,253
これを次のとおり処分いたします。	
利 益 配 当 金 (1株につき5円)	73,152,995
次 期 繰 越 利 益	688,689,258

役 員 (平成18年6月28日現在)

代表取締役社長	重 里 育 孝
常 務 取 締 役	吉 村 哲 行
取 締 役	神 戸 良 男
取 締 役	春 田 祐 治
取 締 役	牧 野 健 太 郎
取 締 役	小 瀬 透
常 勤 監 査 役	手 川 明 映
監 査 役※	山 口 利 昭
監 査 役※	大 西 耕 太 郎

(注) ※印は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

店舗一覽 (平成18年6月現在)

ファミリーレストラン・フレンドリー — 西欧料理 —



●大阪府

阿倍野区役所前	店	大阪市阿倍野区三明町2丁目9-21	06(6628)3077
生野	店	大阪市生野区巽東町1丁目2-27	06(6757)3350
古市	店	大阪市城東区古市3丁目22-23	06(6933)0215
玉出	店	大阪市住之江区東加賀屋1丁目11-30	06(6681)7508
住之江	店	大阪市住之江区南加賀屋3丁目3-14	06(6681)7466
我孫子	店	大阪市住吉区我孫子東2丁目1-10	06(6692)6596
今福鶴見	店	大阪市鶴見区鶴見4丁目11-69	06(6915)5399
西区南堀江	店	大阪市西区南堀江2丁目5-7	06(6536)5406
杭全	店	大阪市東住吉区杭全2丁目11-2	06(6714)0209
緑橋	店	大阪市東成区東中本1丁目17-13	06(6976)1441
八尾	店	大阪市平野区加美東7丁目3-23	06(6792)1406
長吉	店	大阪市平野区長吉出戸7丁目2-67	06(6790)1598
朝潮橋	店	大阪市港区池島1丁目1-21	06(6573)5648
新大阪	店	大阪市淀川区西宮原2丁目7-22	06(6394)4724
泉大津	店	泉大津市千原町1丁目57-1	0725(22)2173
泉佐野	店	泉佐野市上瓦屋540-1	072(464)7009
茨木	店	茨木市上穂東町2丁目10	072(627)3704
貝塚	店	貝塚市石才230-1-1	072(432)1303
巢本	店	門真市巢本町1-3	072(883)5352
河内長野	店	河内長野市昭栄町3丁目1	0721(55)0660
久米田	店	岸和田市荒木町2丁目21-66	072(443)5184
堺福田	店	堺市中区福田1089-4	072(239)1400
泉北豊田	店	堺市南区竹城台3丁目22-1	072(295)3821
美原	店	堺市美原区平尾299-3	072(362)3202
江坂広芝公園	店	吹田市南金田2丁目1-1	06(6388)6140
摂津鳥飼	店	摂津市鳥飼本町5丁目16-29	072(654)0710
野崎	店	大東市寺川3丁目12-1	072(874)2072
大東	店	大東市氷野1丁目17-44	072(872)1902
豊中庄内	店	豊中市庄内東町3丁目1-41-101	06(6336)3703
豊中刀根山	店	豊中市刀根山元町12-57	06(6857)0921
富田林	店	富田林市喜志町5丁目4-10	0721(25)3998
中野	店	東大阪市中野636	072(964)9145
瓢箪山	店	東大阪市若草町1丁目1	0729(87)6584
東香里	店	枚方市高田1丁目5-20	072(852)5517
枚方	店	枚方市田口山2丁目1-1	072(850)5881
枚方津田	店	枚方市津田北町1丁目32-22	072(858)5106
藤井寺	店	藤井寺市沢田2丁目1-29	072(939)3474
守口大日	店	守口市大日東町35-8	06(6905)1985

●京都府

西大路七条	店	京都市下京区七条御所ノ内北町92	075(321)6326
五条御前	店	京都市下京区西七条御前田町22	075(314)7356
洛西	店	京都市西京区榎原芋峠44-8	075(381)0324
伏見竹田	店	京都市伏見区深草西浦町8丁目120	075(643)6149
伏見	店	京都市伏見区横大路芝生35-4	075(622)3803
山科	店	京都市山科区上花山坂尻町1	075(581)1892
向日	店	向日市鶏冠井町清水11	075(933)7176

●兵庫県

鈴蘭台店	神戸市北区山田町小部法殿ノ下30-7	078(594)2396
神戸元町店	神戸市中央区相生町1丁目3-4	078(371)5896
杭瀬店	尼崎市杭瀬南新町4丁目1-23	06(6488)5623
武庫之荘店	尼崎市武庫之荘3丁目21-8	06(6433)1022
川西加茂店	川西市加茂3丁目15-4	072(759)1070

●奈良県

八木店	橿原市十市町1219-1	0744(25)3066
香芝五位堂店	香芝市瓦口30-1	0745(78)8910
法隆寺店	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺南2丁目6-5	0745(74)4600
王寺店	奈良県北葛城郡王寺町本町1丁目17-52	0745(31)4855
大和高田店	葛城市東室牛田93-1	0745(69)4861

●和歌山県

東和歌山店	和歌山市栗栖字番頭免685-4	073(473)8545
築地橋店	和歌山市舟津町1丁目10	073(428)0685

●滋賀県

草津店	草津市矢倉2丁目字下北池28	077(564)2360
-----	----------------	--------------



団樂れすとらん・ボンズ
—和 食—



●大阪府

住之江店	大阪市住之江区浜口西3丁目12-2	06(6673)2236
今福鶴見店	大阪市鶴見区鶴見4丁目11-70	06(6913)5409
中環八尾店	大阪市平野区加美東7丁目3-21	06(6792)1405
新大阪店	大阪市淀川区西宮原2丁目7-14	06(6350)7721
狭山くみの木店	大阪狭山市茱萸木4丁目326-1	072(367)3474
和泉店	和泉市伯太町1丁目7-23	0725(46)0076

店舗一覽 (平成18年6月現在)

羽倉崎店	泉佐野市羽倉崎1丁目6-10	072(464)9092
茨木畑田店	茨木市畑田町5-18	072(626)9601
巢本店	門真市巢本町1-3	072(883)5351
門真月出店	門真市月出町26-2	06(6905)1980
河内長野店	河内長野市上原西町19-27	0721(55)1008
岸和田小松里店	岸和田市小松里28-8	072(444)4451
岸和田南町店	岸和田市南町30-25	072(423)5687
鳳店	堺市西区鳳西町2丁目1	072(262)4033
泉北大庭寺店	堺市南区大庭寺869-1	072(296)8405
吹田店	吹田市泉町2丁目45-12	06(6385)6578
摂津店	摂津市鳥飼下3丁目9-3	072(654)0103
野崎店	大東市寺川3丁目12-1	072(874)2071
高槻唐崎店	高槻市唐崎西2丁目22	072(678)4800
高槻松川店	高槻市松川町21-2	072(676)5152
高槻緑ヶ丘店	高槻市真上町3丁目12-3	072(683)0491
豊中春日店	豊中市春日町5丁目8-15	06(6845)7301
豊地公園店	豊中市東寺内12-38	06(6338)0200
富田林店	富田林市若松町西2丁目1684-1	0721(26)0196
寝屋川昭栄町店	寝屋川市昭栄町11-40	072(822)8117
高井田店	東大阪市高井田本通7丁目6-32	06(6784)3580
藤井寺店	藤井寺市沢田2丁目1-31	072(952)3544
守口店	守口市京阪本通1丁目9-1	06(6992)2175
八尾楠根店	八尾市楠根町4丁目31-4	072(999)1140

●京都府

山科東野店	京都市山科区東野片下り町7番地	075(593)1031
宇治槇島店	宇治市槇島町本屋敷101	0774(24)7022

●兵庫県

神戸有野店	神戸市北区有野中町4丁目2-1	078(982)2608
鈴蘭台店	神戸市北区山田町小部字北ノ谷43-3	078(594)6733
名谷店	神戸市垂水区名谷町字寺池1487	078(709)6580
明石二見店	明石市二見町西二見字西野々内1838-1	078(945)3151
杭瀬店	尼崎市杭瀬南新町4丁目1-23	06(6482)7080
伊丹昆陽店	伊丹市昆陽池1丁目63	072(772)5651
加古川平野店	加古川市加古川町平野232-1	0794(27)5308
宝塚中筋店	宝塚市中筋7丁目100-1	0797(80)0008

●奈良県

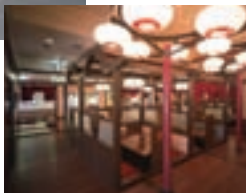
押熊店	奈良市押熊町字西ノ谷1501-1	0742(41)3231
学園前店	奈良市中町1-78	0742(44)3051
橿原店	橿原市五井町223-35	0744(24)4540
香芝五位堂店	香芝市瓦口2133	0745(78)7437
大和新庄店	葛城市東室149-1	0745(69)9095
大和筒井店	大和郡山市今国府町字西森295-1	0743(57)1825
法隆寺店	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺南2丁目6-8	0745(74)5404
田原本店	奈良県磯城郡田原本町大字阪手651-1	07443(3)2730

●和歌山県

和歌山宮街道店	和歌山市秋月字飯垣288	073(473)1330
和歌山次郎丸店	和歌山市次郎丸字北畑229-1	073(454)8071
築地橋店	和歌山市舟津町1丁目10	073(423)0825
和歌山岩出店	和歌山県岩出市中迫141-1	0736(63)2463

●三重県

名張店	名張市夏見3213-1	0595(64)5513
松阪川井店	松阪市川井町字大坪834-18	0598(21)8155



和み料理と味わいの酒・
土筆んぼ
—居酒屋—

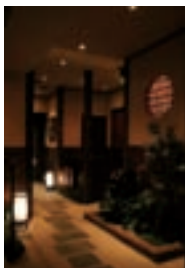


●大阪府

お初天神店	大阪市北区曾根崎2丁目8-7 コーストスタジオネ4階	06(6311)8770
あびこ駅前店	大阪市住吉区菊田7-12-34 プラザあびこビル2階	06(6699)0611
千日前店	大阪市中央区難波3丁目4-16 日土地なんばビル7階	06(4396)3061
南海難波駅前店	大阪市中央区難波千日前13-10 アソルティなんば4階	06(4396)6868
東三国店	大阪市淀川区宮原2丁目14-14	06(6394)3371
堺東駅前店	堺市堺区北瓦町2-1-28 ヤングタウン103ビル2階	072(227)1651
江坂店	吹田市豊津町9-16 第一ロンヂェビルB1F	06(6339)5125
阪急庄内駅前店	豊中市庄内東町2丁目1-23 誠宏ビル4階	06(6334)0233
布施南口駅前店	東大阪市足代2丁目3-1 現代布施駅前ビル2階	06(6725)5311
近鉄八尾駅前店	八尾市光町1-50	072(923)7855

●兵庫県

神戸元町店	神戸市中央区元町通1丁目11-17 元町大本ビル6階	078(333)5510
-------	----------------------------	--------------



店舗一覧 (平成18年6月現在)

産直鮮魚と寿司・炉端 源へい —和食—



●大阪府

針 中 野 店	大阪市東住吉区中野3丁目11-6	06(6704)2052
泉 佐 野 上 瓦 屋 店	泉佐野市上瓦屋226-1	072(464)1980
岸 和 田 三 田 店	岸和田市三田町68-2	072(443)3670
深 井 店	堺市中区深井北町3499	072(278)8834
美 原 店	堺市美原区平尾292-1	072(363)6415
大 東 店	大東市氷野1丁目17-45	072(872)1901
東 香 里 店	枚方市高田1丁目5-22	072(852)8688

●兵庫県

川 西 加 茂 店	川西市加茂3丁目1-4	072(758)0038
-----------	-------------	--------------



イタリアンレストラン・イルパローネ —イタリア料理—



●大阪府

鳳 店 堺市西区鳳西町 2 丁目 1 072(261)5610

●奈良県

奈良 尼ヶ辻 店 奈良市三条大路 4 丁目 1-25 0742(36)8607



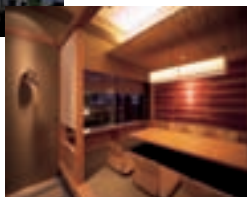
せいろ御飯・手作り豆腐 竹〇屋

072(232)1935

—和食—

●大阪府

堺 宿院 店 堺市堺区中之町東 1 丁目 1-30 072(232)1935



店舗一覧 (平成18年6月現在)

ダイニング・ビュッフェ い〜とみ〜と
—和食—



●大阪府

長田店 東大阪市長田西4丁目1-27

06(6744)1173



会社の概要 (平成18年3月31日現在)

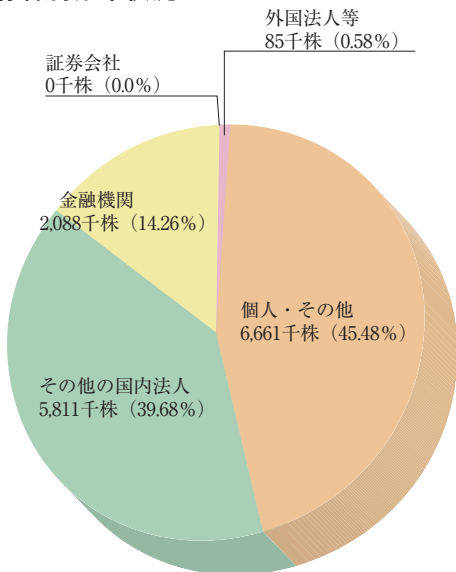
- 商 号 株式会社 フレンドリー
- 英 文 商 号 FRIENDLY CORPORATION
- 設 立 昭和29年8月9日
- 資 本 金 3,975,062,600円
- 発行済株式総数 14,645,584株
- 従 業 員 数 375名
- 本 社 大阪府大東市寺川3丁目12番1号
- 工 場 大阪府大東市寺川3丁目12番1号
- 主な事業内容 ファミリーレストラン事業

●店 舗

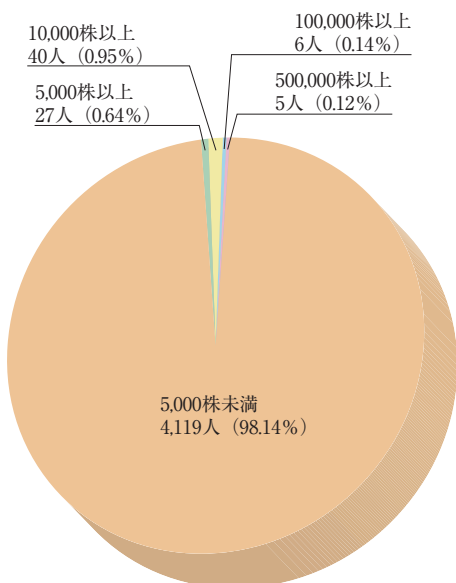
業態	府県								合 計
	大阪府	京都府	兵庫県	奈良県	和歌山県	滋賀県	三重県		
ファミリーレストラン フレンドリー	店 38	店 7	店 5	店 6	店 2	店 1	店 —	店 59	
団 樂 れ す と ら ん ボ ン ズ	33	2	9	8	4	—	2	58	
和み料理と味わいの酒 土 筆 ん ぼ う	9	—	1	—	—	—	—	10	
産直鮮魚と寿司・炉端 源 ベ い	5	—	—	—	—	—	—	5	
イタリアンレストラン イル パ ロ ー ネ	3	—	—	1	—	—	—	4	
せいろ御飯・手作り豆富 竹 ○ 屋	1	—	—	—	—	—	—	1	
ダイニング・ビュッフェ い ~ と み ~ と	1	—	—	—	—	—	—	1	
合 計	90	9	15	15	6	1	2	138	

株式の状況 (平成18年3月31日現在)

● 所有者別分布状況



● 所有数別分布状況



株主ご優待

毎年3月末日および9月末日の最終の株主名簿（実質株主名簿）に記載または記録された1,000株以上ご所有の株主各位に、1回8,000円（500円券16枚）相当の株主優待お食事券を贈呈。
有効期間は発行日から1年間。

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 1,000株
- 配当金受領
株主確定日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 基準日 定時株主総会 3月31日
その他、必要あるときはあらかじめ
公告して定めた日
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲1丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部
- お問合せ先 〒135-8722
(郵便物送付先) 東京都江東区佐賀1丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社
証券代行部
- (電話照会先) 電話 0120-288-324
(インターネットホームページURL) <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>
- 同取次所 みずほ信託銀行株式会社
全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店および全国各支店
- 公告方法 日本経済新聞に掲載

決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書は、EDINET（証券取引法に基づく有価証券報告書の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。



株式会社フレンドリー

本 社 / 〒574-0014 大阪府大東市寺川 3 丁目12番 1 号
電話 072 (874) 2747

ホームページアドレス
<http://www.friendly-co.com/>